JGS 関東　新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第 7 回　議事録

■　日時：2019 年 11 月 6 日（水）　14：00～17:00
■　場所：地盤工学会　地下階大会議室
■　出席者：桑原（パイルフォーラム），青木（竹中），加倉井（パイルフォーラム），阿部（東京ソイル），柏（国総研），片山（東邦地下工機），小坂井（MFR），西（安藤ハザマ），三反畑（安藤ハザマ），古垣内（東急），張（東急），嶋田（大林），森（熊谷），福田（戸田），長澤（清水），栗本（清水），原（西松），伊藤（東亜），小林（大成），高岡（三井住友），梶野（長谷工），土屋（竹中），宮本（東洋テクノ），木谷（三谷セキサン），田中（大洋基礎），小川（旭化成），細田（ジャパンパイル），山下（不動テトラ），菅原（丸建興業），大平（八州建機），媚山（新潟商事），山本（地盤試験所）
　ゲスト：吉田（土木研究所）　　記録者：木谷
　　注：____欠席
■　提出資料：
　7-0　　JGS 関東既存杭撤去第 7 回議事次第
　7-1-1　第 6 回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録（案）
　7-1-2　既存杭撤去埋戻しガイドライン目次（案）
　7-1-3　ガイドラインフォーマット（案）
　7-1-4　JGS 関東の既存杭撤去埋戻し委員会 2019 年度中間報告と PTT 資料
　7-2-1　WG1　ガイドライン案
　7-3-0　WG2　今後の予定
　7-4-1　既存杭アンケート集計（木谷）
　7-4-2　既存杭アンケート集計（日基協）
　7-4-3　第 6 回 WG3 議事録

議事題

1.　前回議事録の確認（資料 7-1）

特異に議論無く、前回議事録は承認された。

2. JGS 関東（既存杭撤去埋戻し委員会 2019 年度中間報告）と PTT 資料（資料 7-1-4）

桑原委員長より、説明があった。関東支部で運営されている 7 つの委員会が発表した。10 分の発表で、本委員会が最もまとまっていた。特に質問はなかった。

3.　既存杭撤去埋戻しガイドライン目次（案）（資料 7-1-2）

青木幹事より、説明があった。

1）WG1 に関して

・撤去工法毎の適用範囲の設定が重要である。アンケート結果に基づいて検討してほしい。例えば、抜く杭に応じた撤去法や、地盤や敷地状況に応じた撤去法など。

2）WG2 に関して

・要求グレードに応じた埋戻し方法や管理方法、管理値の設定ができることが望ましい。
・目標強度の考え方については、詳しく書く。

・埋戻し孔調査のガイドラインが必要である。

＜質疑＞

・「目標強度」とは、qu のイメージか？N 値でもいいのか？

→今後、議論して、この意義をしっかり定めておく必要がある。埋戻し孔調査の項で詳しく書いてもらいたい。

→アンケートでは、埋戻し孔調査は 16 件、その他文献もあるので、これらを分析するが、要求グレードまでの設定は難しい。

3) WG3 に関して

・干渉程度別の新設杭施工への影響や対処方法などについて記載してほしい。

・アンケートのトラブル事例に基づいて、施工時の留意点を記載する。

・設計上の留意点についても、トラブル事例に基づいて記載する。

4) その他

・杭撤去や埋戻しに関する施工記録やチェック表は、WG1 で作成する。

・「記録」関係は、独立して章立てしても良いかもしれない。

・施工記録の内容等は、汎用型で作成する。

・全く干渉しない残置杭の取り扱いについては、対象外とする。

4. ガイドラインフォーマット案（資料 7-1-3）

青木幹事より、説明があった。

・指針ではないので、本文・解説の形式はとらない。

・日建連のガイドラインのフォーマットに合わせる案で進める。

5. 地盤工学会大会への投稿

青木幹事より、説明があった。

・アンケート内容を含めた概要で 1 編、各 WG で 1～2 編を投稿したい。

・次回委員会までに幹事側で概要編を書き、それに続けて各 WG が書く。2 月初が申込み締切、3 月初が投稿締切なので、各 WG は 2 月中に完成する。

・次回委員会までに、各 WG で発表者、連名者を決める。

7. WG1：ガイドライン案（資料 7-2-1）　（三反畑委員）

・埋戻しのチェック表などは有るのか？→工法ごとの物はある

・評価の良否を示すものや、状況に応じた星取表などがあると使いやすい。

・アンケートと照らし合わせて記載してほしいが、個別の事例というよりは、実用性を考慮して、適用範囲を充実させてほしい。

8. WG2：今後の予定（資料 7-3-0）　（古垣内委員）

・データのある 16 件について、A4 版 1 枚で詳細を示して欲しい。

・事例紹介というよりは、そこから読み取れるものを WG で検討する。

・具体的事例はわかりやすいが、現場の許可をもらう必要がある。一般論的な記載がよい。

・埋戻し孔の調査までした事例は、何らかの目的や設計的な考えがあって実施していると思われる。これらをまとめると何らかの方向性が見えるかもしれない。

・学会で発表された事例も、ガイドラインとして別枠で作業する必要がある。

9. WG3：既存杭アンケート集計（資料 7-4-1、2）　（木谷委員、宮本委員）

アンケート集計に関して、既製杭と場所打ち杭で説明があった。

・これらの集計結果を大会論文にまとめるのは難しい。詳細な事例を紹介する方法もある。

・アンケートのトラブル事例と埋戻し方法の因果関係を調べる。

・干渉の程度とトラブルの関係を示せるとよい。

・分析結果だけでなく、「なぜこうなったか」の考察も記載する。

・設計事例も A4-1 枚程度でまとめてほしい。

10. その他

・次回 1/22 には、各 WG で発表者と概要を示す。
次々回には大会論文の最終版を提出する。

・次々回：2020 年 2 月 17 日（月）14:00～17:00　　場所　地盤工学会